

1. 基本構想（素案）について

番号	第5回会議資料	指摘事項	対応	6/22版 対応箇所
1	序論 (P3)	「また、令和3年に市制施行から50年を迎えることとなった一方」とあるが、過去形の方が適切ではないか。	文言を見直します。	P3
2	人口推計 (P12、27)	P27のグラフでは自然減は含まれていないと思うが、算入することにより見込みが少なくなるのではないか。また、P12のグラフに死亡数の将来推定も書くべきではないか（人口推計をする際は出生数と死亡数の将来推計も必要ではないか。）。	人口推計における自然増減は、国の算出方法に合わせて、人口に出生率と生残率(=1-死亡率)をかけて算入しています。	修正等なし
3	人口推計 (P11、28)	P11とP28のグラフの違いが分かりにくい。この2つは同じシミュレーションで条件が変わった場合ということによいか。2つのグラフのタイトルを工夫することで、分かりやすくなるのではないか。	グラフのタイトルを見直します。	P11、13
4	本市の現状と課題 (P16)	住宅都市という表現が出てくるが、産業とか働くところがないまちという印象を与える。ローカルビジネスや産業の育成を今後していくのであれば、企業の活性化についてここに記載した方がよいのではないか。P18に新たな産業とかは書かれてはいるが、ここだけでは税収のためだけに見えてしまう。	「現状と課題④」に地域産業の活性化に係る表現を追加します。	P18
5	まちづくりの目標1 (P21)	市民ワークショップにおける「目指すまちの姿」の部分で、「欲しいときに欲しい分だけ」と記載があるが、「必要なときに必要な支援」といった表現の方がよいのではないか。	市民WSで練られた表現であるため、見直することは困難です。（際限なくというニュアンスではなく、適度な距離間で適切な支援というニュアンスを意図するものです。）	修正等なし

6	まちづくりの 目標3 (P23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「それぞれの立場で」とあるが、その前提になる言葉がなく、冷たい言い方に感じる。下の文章で「自助・共助・公助」が出てきているので、文章の順番を逆にした方が良いのではないか。</li> <li>● 「自助・共助・公助」という表現について、昨今、公助の前に自助努力でというイメージがついている。市民が主体的に関わるとか、協働といったイメージの言葉の方が良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主語を明確にしました(みんな＝市民・地域・事業者・行政等)。</li> <li>・ 「自助・共助・公助」を「協働」としました。</li> </ul>	P25
7	協働 (P19、P26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協働という言葉は市民にとって馴染みがないので、意味を分かりやすく表現し、もう少し強くアピールした方が良いのではないか。</li> <li>● “協働”とパートナーシップで別々で使われているが、同じ意味で使われていると思うので、表現を統一した方が良いのではないか。</li> <li>● 協働の意識はなかなか市民に根付いていないと考えられるため、市民の意識を高めるような働きかけを計画に織り込んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「協働」の意義に係る説明を追加しました。</li> <li>・ 「パートナーシップ」を「連携・協力関係」としました。</li> </ul>	P20 P28、29
8	全体構成 (P27～29)	<p>計画のストーリーについて、P27以降に突然、具体的な人口将来展望や都市構造などが出てくる。基本構想とどのようにつながっていくのか関係が分かりにくい。なぜ行政運営に人口や都市構造が大切なのか、という説明があれば全体構成がわかりやすくなるのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口の将来展望については、将来課題を整理するための要素であることから、掲載場所を変更しました。</li> <li>・ 都市構造については、基本構想との関係がわかりやすくなるよう表現を見直しました。</li> </ul>	P13、14 P30

9	人口の将来展望 (P27)	P27 黒枠内に書かれている現役世代と子どもの割合について、現状のまま推移した場合の2034年の割合も明記した方がわかりやすいのではないか。	<p>生産年齢人口と年少人口の割合について、下記のとおり数値の変化が小さく、意図が伝わりにくいと判断し、大きな将来目標としての記載を削除しました。</p> <p>なお、人口の将来展望については、課題を整理するための要素として掲載しています。</p> <p>(参考) 生産年齢人口+年少人口の割合                  2020年実績 約70%                  2034年推計(現状のまま推移) 約65%                  2034年推計(目指す方向性) 約67%</p>	記載削除
10	都市構造 (P29~)	都市構造の図について、軸や拠点のほかに、地域の生活圏のような表現もあった方が良いのではないかと。	本市の都市構造はコンパクト化が進んでいることなどから、都市構造図に表現の追加・修正等を行いません。(都市計画担当とも調整)	修正等なし
11	用語解説 (P32~)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DXの解説が、英数字に記載がなくて仮名文字に記載がある。なぜ英数字に記載がないのか。</li> <li>● 本文の中においても、米印を付けるなどで用語解説との関係を分かりやすくしてほしい。また、ページ数も合わせてほしい。</li> <li>● 英語の用語説明について、書き方を統一してほしい。</li> </ul>	用語解説の該当箇所を修正します。また、本文中への注釈については、今後検討します。	P34

2. 第1期基本計画（素案）について

番号	第5回会議資料	指摘事項	対応	6/22版 対応箇所
1	序論 (P4)	基本計画の期間において、市長任期と揃えるという記載があるが、従来の市長戦略と基本計画との関係性が分かりにくい。	現時点では、基本計画中に市長の方針を記載することは想定しておらず、誤解を招く恐れがあるため表現を削除します。	記載削除
2	政策分野 ・体系図 (P6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織横断的につながりを持ち進めていくのであれば、「政策分野」を「主な政策分野」の標記に変えたほうが良いのではないか。</li> <li>● まちづくりの目標に番号を振らなくても良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体系図では、行政が取り組む政策分野を網羅的・体系的に表現することを目的としているため、「政策分野」のままとします。</li> <li>● 番号は、政策分野・施策・事務事業等の関係を整理する際に便宜上必要となるため、このままとします。（優先順位を意図したものではありません。）</li> </ul>	修正等なし
3	政策分野別計画 (P10~11)	政策分野について、機械的に2ページずつ記載していくことで良いのか。政策の優先順位に応じてページ配分や記載順序を変える必要があるか、検討してほしい。	<p>政策分野は、計画期間中に取り組むべき主な施策をグルーピングするための単位です。（基本的に、法定事業など政策判断が求められない事業は、基本計画・実施計画に記載しない予定です。）</p> <p>計画書の見やすさも考慮したうえで、見開き2ページに整理できるものと考えています。</p>	—

4	その他 (進捗管理)	KPI を用いて計画を評価していくにあたり、必要に応じて担当部署のタスク管理を公開してもらうなど、外部から進捗がわかるような仕組みを検討してほしい。	各所管では、多くの事務事業を並行して進めていく必要があるため、現在もスケジュール管理・タスク管理を行っています。 基本計画の具体的な進捗管理手法は検討中です。	—
5	その他 (進捗管理)	基本構想で人口展望を記載しているが、基本構想の中では目標数値の記載はなかった。基本計画内では、出生率や社会増減などについて目標として掲げ、達成状況をわかるようにした方が良いのではないか。	総人口や出生率、社会増減等の人口動態は、本総合計画を進めていくうえで重要な指標であると考えています。 これらの指標は、複数の政策分野や社会的要因が関係すると考えられるため、基本計画に記載するのではなく、基本構想全体の進捗を確認するための総合的な指標として、4年ごとにチェックしていくなどの活用を検討しています。	—